

梅津五郎絵画展



《パンテオン》

Goro Umezu Exhibition

2025.
4/19
[土]

5/18
[日]

開館時間

9:00—19:00

休館日

4/21(月)・4/28(月)
5/7(水)・5/12(月)

[主催・会場・お問い合わせ]

白鷹町文化交流センター あゆーむ AYU:M

〒992-0771 山形県西置賜郡白鷹町大字鮎貝 7331 番地

TEL.0238-85-9071

観覧料

一般個人 200 円 / 高校生以下無料

※あゆーむ年間パスポート提示で無料

※高校生以下のかたは生徒手帳をご提示ください

ただ単なる写生ではなく
限られた画面の中に無限に広がる宇宙を、
その雄大さをとらえ、
時代に流されることなく呼吸し続ける
生きた絵を描き続けたい——— 梅津五郎



《ノートルダム》

Goro Umezumi Exhibition

梅津五郎 プロフィール

1920年(大正9)山形県白鷹町浅立に生まれる。18歳の時画業を志して上京。森田茂、熊岡美彦の両氏に師事する。東光展と日展を主な発表の場として、1956年(昭和31)の第12回日展において、自らが働く中華料理屋の厨房を描いた「調理場」で特選を受賞、独特の生活感が評価される。

1962年(昭和37)、42歳の時にフランスに留学。フランス滞在中にサロン・デ・ボザール展に初出品し準会員に推挙される。フランス滞在以後色彩が豊かで鮮やかになり、帰国後極めて厚塗りのタッチで日本の風景を描く。

1980年代からは、日本の風景に加え、自らのアトリエ(新宿区下落合)から見える街の風景や月を描いた作品が多くなり、新境地を示す。

東光会理事長、日展参与などの重責を担いながら一方で売り絵を描かない、注文の絵は描かないという厳しい姿勢を貫き、市場の評価を犠牲にしながらも主要作品多数を手元に置いておいた。晩年郷里の白鷹町に代表作など120点余を寄贈。2003年(平成15)83歳で没する。

また、2022年(令和4年)新たに117点の作品が遺族から寄贈された。



会期中のイベント

河村尚子室内楽プログラム
春のピアノ四重奏

<Nos Dame—3人の女性作曲家>

日時 2025年4月27日(日)
15:00 開演(14:30 開場)

会場 白鷹町文化交流センターあゆーむ
ホール

演奏 河村尚子(ピアノ)、岡本 誠司(ヴァイオリン)、赤坂 智子(ヴィオラ)、伊藤 悠貴(チェロ)

入場料 一般 4,500 円、高校生以下 2,000 円(当日 500 円増し)※全席自由 ※未就学児の入場はご遠慮ください

主催・問合せ 白鷹町文化交流センター
TEL. 0238-85-9071



あゆーむ WEB サイト

AYU:M 年間パスポート

年会費 2,000^(税込) で3つの特典

- 特典1** 観覧料 200 円のギャラリー展示は無料(適用回数無制限)
- 特典2** 観覧料 201 円以上のギャラリー展示は 200 円引き(団体割引との併用は不可)
- 特典3** あゆーむホールの有料イベントはチケット料金を 500 円引き
(会場での本パスポート提示により 500 円を返金)

あゆーむまでお申し込みください

- ※有効期限: 本年4月1日~翌年3月31日
- ※パスポート登録者本人のみ有効
- ※あゆーむが主催あるいは共催する事業に限ります
- ※あゆーむカレッジの事業(うたごえ喫茶・アートキッズ団など)は適用外です

アクセス



あゆーむ
白鷹町文化交流センター AYu:M

[車] 山形市より国道348号線約35分

[電車] 赤湯駅より山形鉄道フラワー長井線「荒砥」行「四季の郷駅」下車(赤湯駅から約50分)徒歩約4分

[お問合せ] 0238-85-9071